



学校キャラクター「たちばにゃん」



「輝け！橘っ子」通信

学校教育目標「ともに生きる力としなやかに伸びる力を持ち、たくましく夢を追求する児童の育成」
めざす学校「笑顔・あいさつ・思いやりがあふれる楽しい学校」

年もあらたまり、いよいよ後期後半が始まりました。今年は午年です。この年は、力強さやスピード、成長を意味しており、変化が加速し、成長が後押しされると言われています。行動力や決断力が高まり、新しい挑戦や冒険が成功を呼ぶとも言われています。子どもたちにも、自分の夢と未来に向かって、馬のように駆け上がってほしいと願います。学校も、校訓にある「仲良く元気に進んでつとめをはたす心」を大切に、変化を恐れず新たなことに挑戦していく学校、自分に挑戦し続ける子どもたちを育てる学校、このような学校を目指し、教職員一同、尽力してまいります。今年もよろしくお願いいたします。

雪が舞い散る中の一輪車大会！

1月11日(日)、徳島県南部総合運動公園で、阿南市小学校一輪車大会がありました。橘小学校からは、2～6年生の6人が参加し、低・中・高学年別のレースや学校別対抗リレーに参加しました。この日は朝から雪が舞い散り、体が冷え込む寒い1日でした。ちょうど競技の時間帯にたくさん雪が降り、子どもたちは目の中に入る雪や寒さと戦いながら一輪車のペダルを一生懸命こぎました。応援する保護者や先生たちもブルブル震える中での大会でしたが、寒さに負けない子どもたちの姿に本当に感動しました。寒さに震えながら、温かく声援を送ってくださった保護者の皆様、ありがとうございました。子どもたちの素晴らしい挑戦に拍手を送りたいと思います。



低学年の部。雪にも負けずゴールを目指す！



中学年はコースを2往復。他校の友達に負けるな！

6年生 地域の方とグラウンドゴルフ交流！

1月14日(水)、6年生の子どもたちが地域の高齢者の方とグラウンドゴルフで交流を深めました。ゴルフのように、少ない打数でボールをホールポストに入れるのは難しく、最初は苦労していた6年生ですが、だんだんとコツをつかみ、会話もプレーも楽しむことができるようになりました。地域の皆さんがとても元気で、6年生もパワーをもらうことができました。ありがとうございました。



挨拶とお互いの自己紹介。



ボールを打つ6年生。真剣です。



何丁でホールアウトしたか自己申告。



地域の方のプレーを見守る6年生。

東日本大震災語り部LIVEに参加しました！

1月15日(木)、5・6年生の子どもたちが「JRCオンライン語り部LIVE2025」(日本赤十字社宮城県支部主催)に参加しました。東日本大震災で被災した方々の体験について直接お話を聞き、子どもたちが命を守るための知識を高めることを目的としたプログラムです。橘小学校は、継続してこの語り部LIVEに参加しています。

今年度、5・6年生がお話を伺った阿部任さんは石巻市在住で、高校1年生の時に祖母と自宅にいるときに被災しました。大きな揺れの後、「大丈夫だろう。」と、すぐに避難しなかったために家ごと津波で流され、震災発生から9日後に奇跡的に救出されたという経験の持ち主です。たまたま冷蔵庫にあった食べ物と水で生き延びましたが、発見されるのがあと1日遅かったら、脚を切断しなければならぬ状況であったそうです。体験者のリアルな言葉に子どもたちは真剣に聞き入っていました。

最後に阿部さんは、「大きな地震が起きたら、まずは避難すること。そのことが自分はもちろん周りの人の命を救うことにつながる。ぜひ、自宅でも避難訓練をしてほしい。」とお話をまとめられました。子どもたちには地震発生時、どこにいてもまずは高台に避難する、ということを中心に心にとどめておいてほしいと願います。



阿部さんの質問に答える子どもたち。



救出を待つ間のことについて質問する。

防災カルタ作り始動！

1月16日(金)、のびのびタイムで全校児童が防災カルタ作成に取り組みました。これまで、全校あげて防災学習に取り組んできた、その集大成として、カルタを作成することになったのです。まずは読み札の内容を決めるため班に分かれ、防災に関する言葉を自由に挙げていきました。この言葉を6年生が整理し、1年生から順番に読み札の内容を考えていきます。全校児童が取り組む初めての活動。完成がとても楽しみです。



いろいろなキーワードが出てきます。



6年生が言葉を書き留めています。



防災標語参考しよう。



地震や津波以外の自然災害も考えて。